



第5章

産業の活力を 実感できるまちづくり

第5章 政策体系

産業の活力を実感できるまちづくり



第1節 農業の振興

A 経営基盤の強化

- (1) 農業経営の安定化を支援します
- (2) 農業の基盤整備を図ります
- (3) 多様な担い手を育成します

B ブランド化の推進

- (1) 西条産品の高付加価値化と販路拡大を推進します
- (2) 農業と観光との連携を推進します

第2節 林業の振興

- (1) 林業経営の安定化を支援します
- (2) 林業の基盤整備を図ります
- (3) 木製都市構想を推進します

第3節 水産業の振興

- (1) 水産業経営の安定化を支援します
- (2) 水産業の基盤整備を図ります
- (3) 水産業と観光との連携を推進します

第4節 商業の振興

- (1) 中心市街地の活性化を図ります
- (2) 商工関係団体との連携を強化します

第5節 企業活動の活性化

- (1) 企業誘致を促進します
- (2) 中小企業活動を応援します
- (3) ものづくり産業の振興を図ります

第6節 新規産業の創出

- (1) ビジネス・インキュベーション機能を強化します
- (2) 総合6次産業化を推進します
- (3) 産学官連携を推進します

第7節 産業人材・雇用環境

- (1) 産業人材の育成・活用を図ります
- (2) 雇用環境の安定化を図ります

第8節 観光産業の創出

- (1) 観光拠点の整備を推進します
- (2) 魅力ある観光ルートの確立と情報発信に努めます
- (3) 受入体制の充実と“おもてなし”の向上を図ります

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第1節 農業の振興（A 経営基盤の強化）

前期(平成18～22年度)における実績

- 中山間地域等直接支払事業を実施することで耕作放棄地の増加を防止し、「農用地の保全」「多目的機能の確保」「集落の活性化」などに対して一定の成果が創出されました。
- 認定農業者の育成・確保および集落営農を推進するとともに、担い手への農地の利用集積を図りました。
- ほ場整備2地区、湛水防除1地区が竣工し、ため池4か所を改修しました。



高田地区ほ場整備の様子

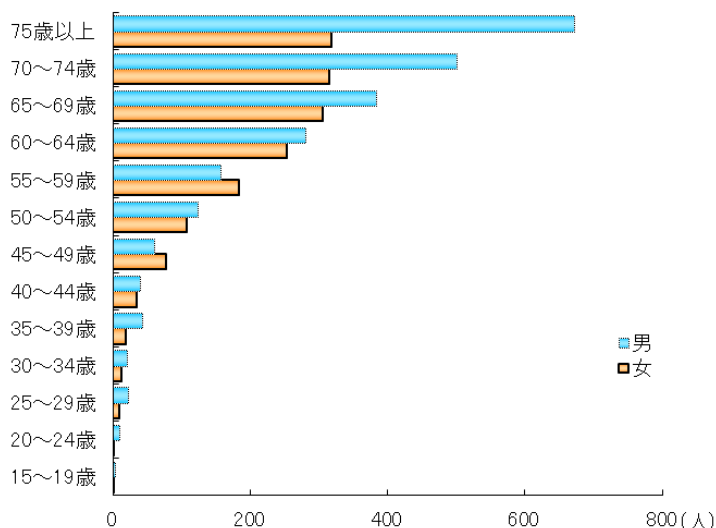
現況と課題

- 本市の農業は、瀬戸内特有の温暖な気候と石鎚山系や高縄山系を源流とする豊富な水資源に恵まれ、米作を主体に麦作、野菜、果樹、花き、畜産などの複合経営が行われ、県下有数の農業地帯となっています。
- 農業従事者の高齢化などによる地域農業の担い手不足が進行する中で、輸入農産物の増加や消費需要の低迷などにより、農業を取り巻く環境は極めて厳しい状態にあります。
- 今後は、地域ごとに特色ある農用地の有効利用を推進し、担い手を核とした経営規模の拡大や多様な担い手の育成および耕作放棄地の防止を図り、さらに農業生産基盤の整備、農地の流動化を進め、安定的な経営体の育成に取り組む必要があります。
- 消費者が求める安全で良質な農産物を安定的に供給する仕組みづくりが求められています。



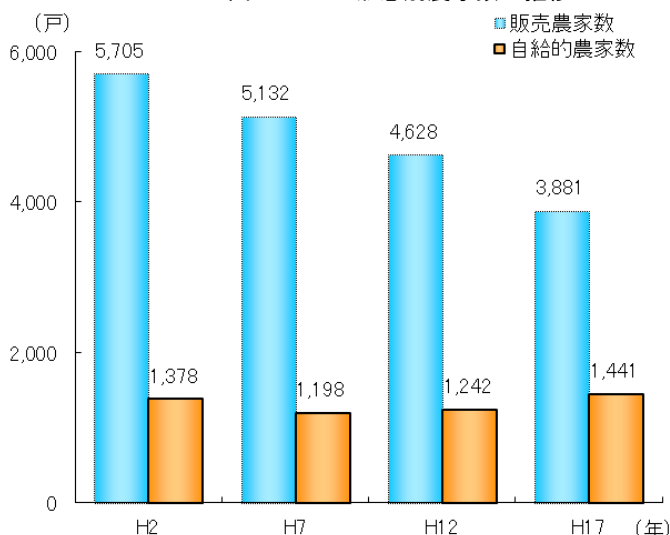
日本一の裸麦の収穫

図5-1-A-1 男女別基幹的農業従事者数(2005年度)



※基幹的農業従事者は、普段主に仕事をしており、かつ主に農業に従事している者
資料：2005農林業センサス

図5-1-A-2 形態別農家数の推移



※販売農家は、経営耕地面積30ha以上または農産物販売金額50万円以上の農家
資料：1990・2000世界農林業センサス、1995農業センサス、2005農林業センサス

平成27年度までに取り組む施策内容

- 農業経営の安定化を支援します
- 農業の基盤整備を図ります
- 多様な担い手を育成します

関係する個別計画

- 西条市農業経営基盤強化促進に関する基本構想（平成22年度～）
- 西条市農業振興地域整備計画（平成22年度～）

施策内容



ラジコンヘリによる防除

(1) 農業経営の安定化を支援します

- ①効率的かつ安定的な農業経営を確立するため、共同利用施設の整備や高性能機械の導入などの生産コストの低減に向けた取り組みを支援します。
- ②水田農業の担い手育成を図るとともに、戸別所得補償制度による米の需給調整の仕組みを確立します。また、水田の高度利用により食料自給率の向上に努めます。
- ③農地の効率的な利用を図るため、担い手などへの農地の利用集積と耕作放棄地の再生に向けた取り組みを支援します。
- ④農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を支援し、耕作放棄地の防止に努めます。

基本事業名	内 容	主な予算事業
経営の安定化支援	共同利用施設や高性能機械などの整備	頑張る農家支援事業 農業近代化資金利子補給
米政策の推進	生産調整の円滑な実施と地域水田農業ビジョンの達成を目的として農家を支援	米政策推進事業
農地流動化の推進	農地利用集積円滑化団体を中心とした農地の面的集積を促進	農地利用集積事業
耕作放棄地の再生	耕作放棄地の解消に取り組む農家を支援	米政策推進事業 頑張る農家支援事業
中山間地域への支援	耕作放棄地の発生防止、多面的機能を確保し農業生産条件の不利を補正するため、交付金を交付	中山間地域等直接支払事業

(2) 農業の基盤整備を図ります

- ①農業農村整備の効率的な事業展開を目指し、土地利用秩序の観点から生産基盤整備を推進します。具体的には、ほ場整備を計画的に取り組めます。
- ②防災対策事業を推進します。老朽ため池を計画的に改修し、災害に強い農業生産基盤整備を図ります。
- ③湛水被害を防除するため、排水機場を整備し、効率的な排水をすることにより、恒久的な湛水防除対策を図ります。

基本事業名	内 容	主な予算事業
土地改良施設整備の推進	ほ場整備を行うことにより、農業経営の近代化、安定化を推進	ほ場整備事業／土地改良事業 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業
湛水防除の推進	湛水被害を未然に防止	湛水防除事業
ため池などの整備推進	老朽化し危険なため池を改修し、堤体の安全とかんがい用水を確保	かんがい排水事業 ため池整備事業
農地・水・環境保全向上の対策推進	地域ぐるみの農地や水を守る共同活動と環境保全に向けた営農活動を支援	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業 農業水利施設ストックマネジメント事業 地域用水環境整備事業

(3) 多様な担い手を育成します

- ①県、農業委員会、農業協同組合などの農業関係団体と連携して、担い手育成に向けた支援体制の充実を図ります。
- ②認定農業者などの育成を図るとともに集落営農を推進し、生産組織の法人化や経営指導などの支援に努めます。
- ③女性がその能力を十分に発揮することができるように、その役割を明確にした農業経営を推進します。また、高齢者の知識や経験を十分発揮できる環境整備に努めます。

基本事業名	内 容	主な予算事業
認定農業者などの育成・支援	認定農業者など連絡協議会の活動を支援	—
集落営農の推進	集落営農組織の活動を支援	米政策推進事業
各種女性グループへの支援	各種女性グループへの支援	—

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第1節 農業の振興（B ブランド化の推進）

前期(平成18～22年度)における実績

- 平成19年4月1日、西条ブランドの確立および6次産業化を推進する拠点施設として「食の創造館」がオープンしました。
- 農協と行政と企業が連携して本市の地域資源であるゼスプリゴールドキウイの加工品開発に取り組み、リキュールやジュース、アイスクリームが商品化されました。
- 野菜や果物の魅力や感動を周りに伝えることができる野菜ソムリエを育成し、食育講座を開催したり野菜ソムリエの情報誌『さくり』を発刊することで、地域の食文化の向上が図られました。
- 供給者と実需者のマッチングを図ることで、販路の拡大が図られている。
- グリーンツーリズムを推進し、多くの人が西条市を訪れるようになった。



JR壬生川駅横の食の創造館

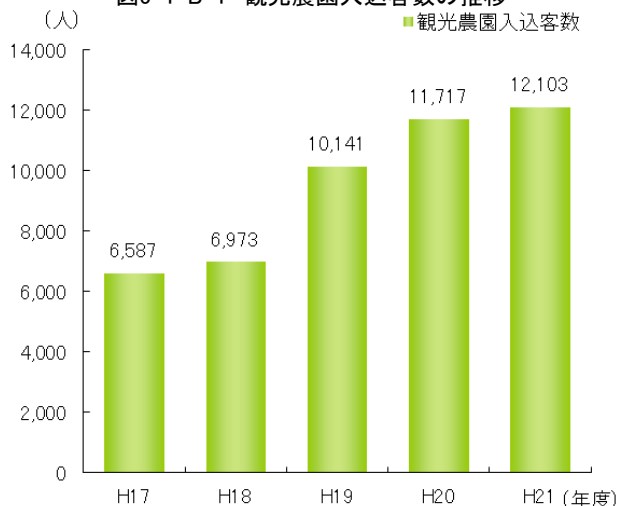
現況と課題

- 本市は、石鎚山を源とする加茂川により涵養された良質で豊富な地下水伏流水「うちぬきの水」をはじめ恵まれた環境の中、素晴らしい農水産品が数多くあります。また、四国八十八札所、観光農園、温泉、産直市場など、観光の見所もたくさんあります。
- しかし、本市および本市農水産品の知名度は全国的に見ると未だ低い状況にあり、あまり知られていないというのが現状です。
- そこで、本市の農水産品の良さを多くの方々に広くPRしていくため、食の創造館を拠点とした「水と食」「観光」による地域ブランドの創出や新たな販路開拓の推進が求められています。



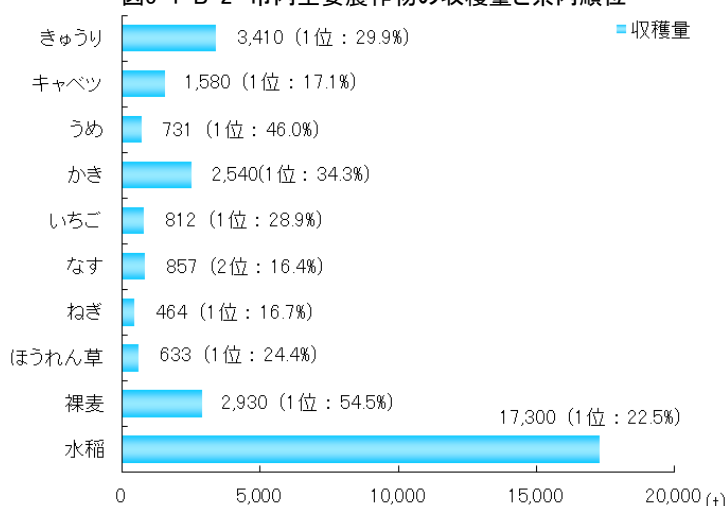
西条野菜の出荷準備

図5-1-B-1 観光農園入込客数の推移



資料: 農業水産課調べ

図5-1-B-2 市内主要農作物の収穫量と県内順位



いちごは17年、水稻、裸麦は21年、他は18年における順位。また、%は県内に占める割合
資料: 愛媛県農林水産統計年報より

平成27年度までに取り組む施策内容

- 西条産品の高付加価値化と販路拡大を推進します
- 農業と観光との連携を推進します

関係する個別計画

施策内容



供給者と実需者のマッチング

(1)西条産品の高付加価値化と販路拡大を推進します

- ①優良品種の導入や高品質・安定生産の促進、地域ニーズの把握、また食の創造館を拠点とした、「水・食・農をいかしたブランドづくり」に取り組みます。
- ②地域資源の供給者と実需者とのマッチングを積極的に実施し、販路の拡大を推進します。
- ③地域の野菜ソムリエと連携し、地元の「食」の情報発信に努めます。
- ④農業関係団体と連携し、積極的に地産地消を推進します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
西条産品ブランド化の推進	水・食・農をいかした西条ブランドの創出	「水と食」調査研究事業
西条産品販路開拓の推進	産地視察受け入れなどによる新たな販路開拓の推進	ふるさと産品PR事業



農業を体験する小学生

(2)農業と観光との連携を推進します

- ①高速交通網などを利用した広域観光ルートの中で、本市の特性を最大限に生かした魅力ある観光農業を推進します。
- ②市内の観光資源と果樹園地帯の観光農園や直販施設などを有機的に結びつけ、観光ネットワークの形成に努めます。また、やすらぎや豊かな自然を求める都市住民のニーズに応えるグリーン・ツーリズムを推進します。
- ③自然志向や農業体験への関心が高まる中、新鮮で手作りの農作物を確保したいという市民の需要に応じ、市民農園や体験農園の整備を支援します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
農業と観光との連携推進	地域資源を活かした啓発普及、情報発信などの活動	グリーンツーリズム推進事業
農山漁村交流施設(道の駅)の整備	地域資源、交流体験、観光など地域活性化を図るための拠点整備	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第2節 林業の振興

前期(平成18～22年度)における実績

- 作業道を整備し、フォワーダやハーベスタなどの高性能林業機械の導入を支援することで、生産性の向上へと繋げることができました。
- 木製都市構想推進の一環として、間伐材を利用した木製ダムを22基設置しました。

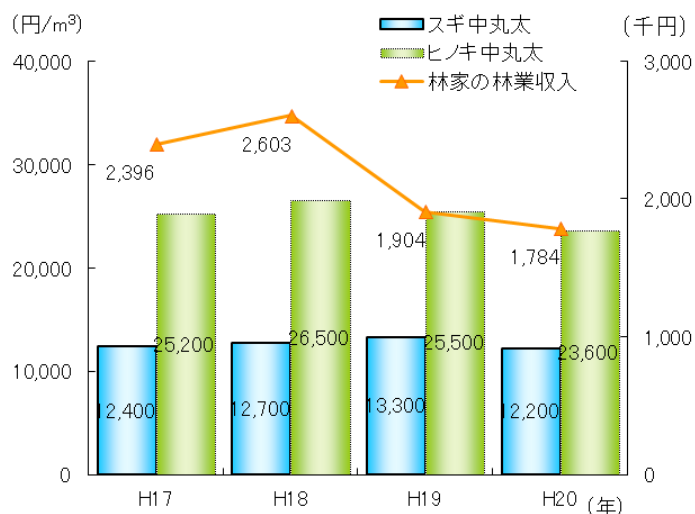


新たに完成した木製ダム

現況と課題

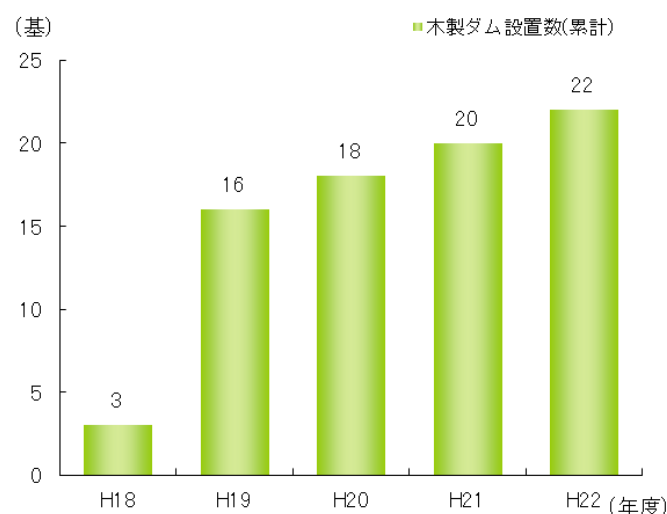
- 本市の南部および西部地域は豊かな森林地帯を形成しており、その面積は35,449ha(平成21年12月末現在)で、市域の約70%を占めています。民有林面積27,775haのうち、19,681haが人工林(人工林率約71%)で、その多くが戦後に植栽されたスギやヒノキで、成熟期を迎えつつあります。
- しかしながら、近年は木材需要の低迷や担い手の減少などにより、林業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり、経営意欲の減退、放置林の増加などにもつながっており、森林の荒廃が懸念されています。
- 森林は水源のかん養、自然環境の保全など公益的機能を持つ貴重な資源であり、その管理、保全および整備が適正に行われる必要があります。今後、林道整備をはじめとした生産基盤の近代化や、地域林業の中核的担い手として大きな役割を果たしている森林組合の経営基盤強化と健全育成に努め、健全な森林の整備を進めていく必要があります。
- 森林をはぐくみ、林業の持続的な発展を促し、木材の地産地消を推進するため、地元産材を活用した木製都市への転換を推進する必要があります。

図5-2-1 丸太価格と林業収入の推移



資料: 森林・林業白書22年版(林野庁)

図5-2-2 木製ダム設置数の推移



※平成18年度より実施
資料: 林業課調べ

平成27年度までに取り組む施策内容

- 林業経営の安定化を支援します
- 林業の基盤整備を図ります
- 木製都市構想を推進します

関係する個別計画

- 西条市森林整備計画
(平成22年度～平成31年度)

施策内容



林業の機械化

(1)林業経営の安定化を支援します

- ①林業の中核的担い手である森林組合の組織、機能の強化に努めるとともに、林業従事者を安定的に確保するため、労働環境、労働条件の改善などを支援します。
- ②森林事業の団地化、共同化を進め、経営の安定を図ります。

基本事業名	内 容	主な予算事業
経営の安定化支援	共同化意識の普及啓蒙	有害鳥獣対策事業 山村集落ふるさとの森整備促進モデル事業
林業団体・担い手の育成	林業事業体に対する支援	森林整備担い手確保育成対策事業



林道路網整備による育林

(2)林業の基盤整備を図ります

- ①経営の合理化を進め、収益性のある優良材生産を促進するため、適切な下刈りや除間伐などの保育事業を推進し、健全で活力ある森林を造成します。
- ②林業の生産性の向上と生産コストの低減を図るため、林道路網整備を推進するとともに、高性能林業機械の導入を促進し、林業経営基盤の強化に努めます。

基本事業名	内 容	主な予算事業
造林・育林の推進	総合的な森林整備を行う森林組合に助成	造林事業
林道の整備推進	加茂角野線、臼坂黒谷線、峰下影線ほか	森林基幹道開設事業 国補林道開設事業
高性能機械導入支援	高性能機械導入の森林組合に助成	高性能林業機械導入事業



公共施設の木造化

(3)木製都市構想を推進します

- ①木材の地産地消のしくみづくりと、都市と森の循環的共存システムを構築し、自然災害に強いまちづくりを目指します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
地元木材利用の推進	PR活動や木材消費の開拓	材木資源の流通システム調査研究事業
木製ダム of 調査研究	木製ダムの設置および研究	木製ダム調査研究事業
水源の森づくり	保水力のある森林の再生	私有林管理事業 造林事業

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第3節 水産業の振興

前期(平成18～22年度)における実績

- 平成22年度末に河原津漁港の整備事業が完了しました。
- 県、県漁連などの関係機関および市の協力のもと、平成21年4月1日に西条漁業協同組合と禎瑞漁業協同組合が合併して、西条市漁業協同組合が発足しました。



整備が完了した河原津漁港

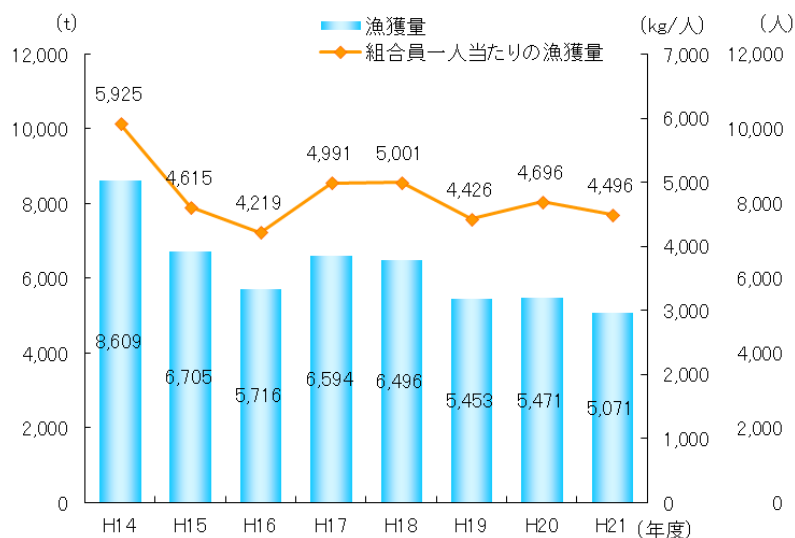
現況と課題

- 本市の水産業は、燧灘海域を主な漁場とした漁船漁業と、広い干潟を利用した海苔養殖業が主体となっています。
- 近年、水産業を取り巻く環境は、水産資源の減少、漁業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい状況にあります。また、魚価の低迷に加え、漁港施設の経年劣化、水産加工施設の未整備などの問題も有しています。
- 今後、生産性向上と水産業所得増加のため、水産業基盤整備や経営支援、観光と連携など、総合的な水産業振興策を行う必要があります。



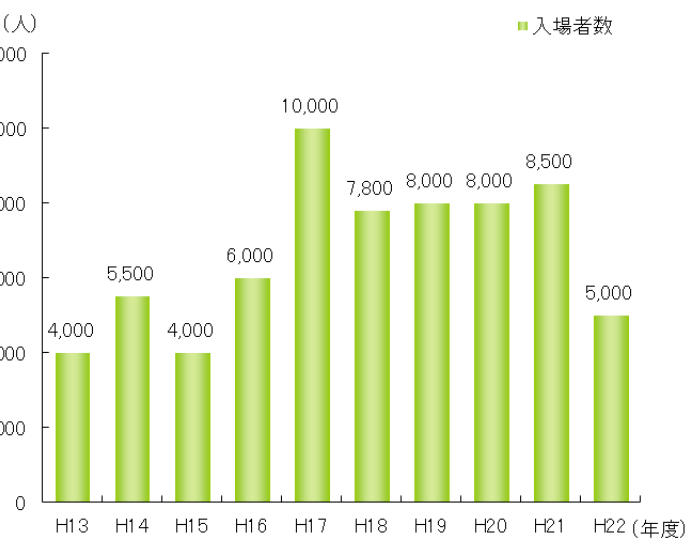
加茂川でのあゆ放流の様子

図5-3-1 漁獲量と組合員一人当たりの漁獲量の推移



資料：農業水産課調べ

図5-3-2 立て干し網入場者数の推移



資料：農業水産課調べ

平成27年度までに取り組む施策内容

- 水産業経営の安定化を支援します
- 水産業の基盤整備を図ります
- 水産業と観光との連携を推進します

関係する個別計画

施策内容



のり収穫作業の様子

(1) 水産業経営の安定化を支援します

- ①水産業経営の安定を図るため、共同利用施設の整備や、漁船・漁具などの近代化を促進するとともに、漁業後継者の育成、加工・販売活動の支援、魚食普及活動の推進に努めます。
- ②安定した海苔養殖の確立を図るため、養殖技術の普及拡大に努めます。
- ③漁業経営の推進母体となる漁業協同組合の経営安定を図るため、漁協合併を推進します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
経営の安定化支援	加工品開発、販売支援 漁船・漁具などの整備支援	漁業近代化資金利子補給
水産業団体の育成支援	漁協合併の推進	—



アマモに産み付けられたコウイカの卵

(2) 水産業の基盤整備を図ります

- ①経年劣化が進んでいる河原津漁港の維持補修などを行い、漁港施設の適正管理に努めます。
- ②漁場の生産性を高めるため、藻場・干潟の保全や漁場の清掃活動を推進し、漁場環境の保全に努めます。
- ③水産資源の増大を図るため、内水面も含めた魚介類の種苗放流を推進します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
河原津漁港の適正管理	ストックマネジメント※による機能維持、延命化	漁港整備事業
漁場環境の保全	藻場づくり活動の支援	藻場づくり活動推進事業
種苗放流の推進	ヒラメ、クルマエビ、ガザミ、アサリなどの種苗を放流、支援	水産振興対策事業(種苗放流など)

※ スtockマネジメント … 既存の建築物(ストック)を有効に活用し、長寿命化を図る手法のことをいいます。



多くの来場者で賑わう立て干し網

(3) 水産業と観光との連携を推進します

- ①漁業と観光を結びつけた立て干し網などの観光漁業を推進します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
観光漁業の推進	立て干し網事業支援、グリーンツーリズムとの連携	水産振興対策事業(立て干し網事業)

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第4節 商業の振興

前期(平成18～22年度)における実績

- 平成20年7月に中心市街地活性化基本計画の認定を受け、計画にもとづき各種中心市街地活性化策を展開してきました。
- 地域消費の活性化を目的に、市内全域を対象としたプレミアム付き商品券「石鎚藩札」を定額給付金、子育て応援特別手当の給付と併せて販売しました。

プレミアム付き商品券販売の様子



プレミアム付き商品券「石鎚藩札」

現況と課題

●近年、ライフスタイルの多様化や自動車社会の進展、流通構造の変化などにより、郊外に大型ショッピングセンターや娯楽施設が進出し、中心市街地での空洞化が進むという、いわゆるスプロール現象※が全国的に大きな問題となっています。本市においても、幹線道路沿いへの大型店舗の進出などにより、零細な小売店の集合体である商店街にとっては、非常に厳しい状況が続いています。

●本市は、新居浜、今治という大きな商圏の影響もあり、小売業における平成19年の地元購買率は90.2%と、周辺地域に購買力が吸収されているのが現状です。

●今後は、各地域に形成された商店街を核として、少子高齢社会を見据えた上で、人々にやさしく、人をひきつける、魅力ある商業機能を構築するとともに、自然に人々が集えるコミュニティ機能を付加し、活気あふれるまちづくりを進めていく必要があります。

※ スプロール現象 …… 開発が都市の中心部から郊外へ無秩序に広がっていくことをいいます。



魅力ある商業機能の構築、にぎわいづくりを目指す商店街

図5-4-1 西条市内商店街の空き店舗状況

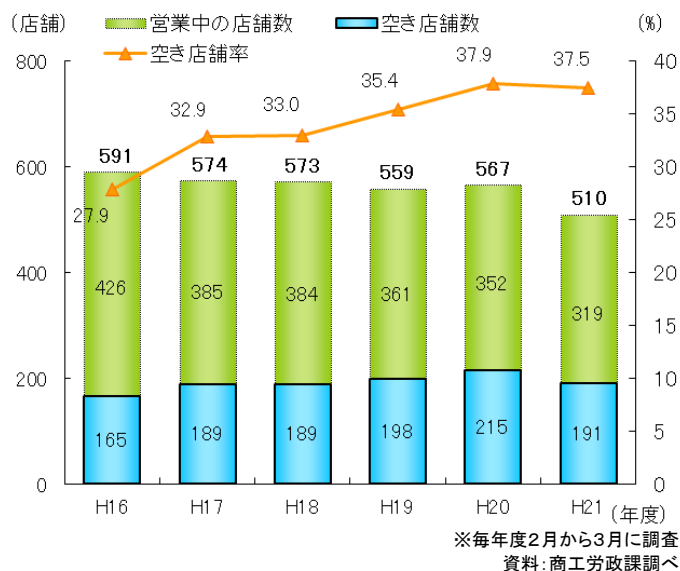
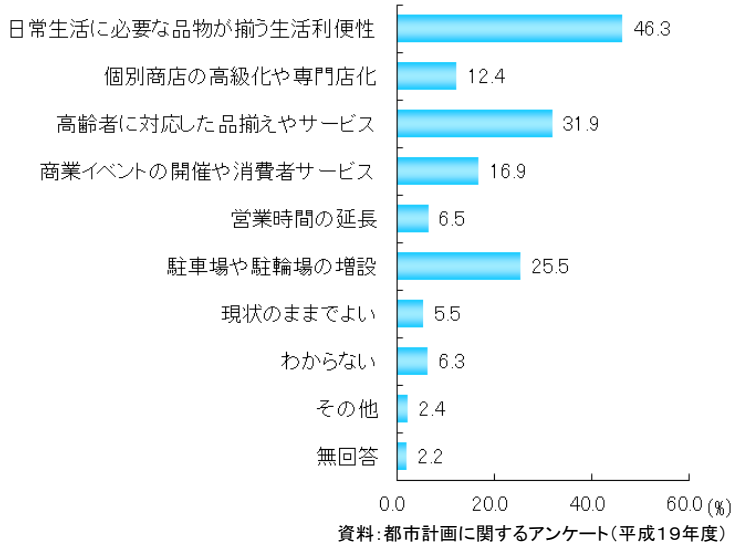


図5-4-2 既存商店街に望むこと



平成27年度までに取り組む施策内容

- 中心市街地の活性化を図ります
- 商工関係団体との連携を強化します

関係する個別計画

- 西条市中心市街地活性化基本計画
(平成20年度～平成24年度)

施策内容



うちめき水を使った
世界のコーヒー フェアの様子

(1) 中心市街地の活性化を図ります

- ① 中心市街地には、商業機能とあわせて市民生活における様々な機能が求められており、周辺の住宅、公共施設などと連携し、多様な都市機能を十分に発揮できるよう活性化を図ります。
- ② 郊外大型店舗とは異なり、徒歩圏内で買い物ができるとい、中心市街地商店街が持つ特性を活かした、高齢者など交通弱者に優しい、コンパクトシティの発想にもとづく中心市街地の形成に努めます。
- ③ 子どもからお年寄りまで幅広い世代が利用しやすく安心して買い物ができる、中心市街地の中核機能としての商店街づくりを支援します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
中心商店街の整備に係る支援	中心市街地の顔である商店街の活性化を支援	中心商店街整備支援事業
人が集う商店街づくりに向けた支援	商店街団体などの運営支援と連携	商店街活性化事業 「千の風になって」のまちづくり事業



産業文化フェスティバルの様子

(2) 商工関係団体との連携を強化します

- ① 商工会議所・商工会と地元経営者と連携して商業経営の近代化などに取り組み、地域特性を活かした商業の活性化を推進します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
商工関係団体との連携強化	商工会議所や商工会などに対する運営支援と連携	産業文化フェスティバル事業

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第5節 企業活動の活性化

前期(平成18～22年度)における実績

- 企業立地促進条例にもとづく奨励措置を活用して積極的な企業誘致に取り組んだ結果、奨励金交付企業の新規直接雇用数(西条市民)が112名となりました。
- 産業情報支援センターを管理運営する(株)西条産業情報支援センターが中小企業の「何でも相談所」として機能し、様々な経営課題に対してアドバイスを行いました。
- 「愛媛県東予地域外国人研修生受入れ特区」の認定を受け、外国人研修生が高度な技術などを修得することで国際経済への貢献および国際交流の促進が図られました。



西条臨海工業団地をはじめとする
四国有数の製造品等出荷額を誇る産業集積地

現況と課題

- 本市の工業は、臨海部を中心に立地する非鉄金属、鉄鋼、電子部品、輸送機械、生産用機械などを中心に発展しています。平成20年のリーマンショックに端を発した世界同時不況や円高の影響で本市の製造業も大きな打撃を受けていますが、依然として本市は四国地方屈指の製造品出荷額を誇っています(図5-5-1および図5-5-2参照)。
- 今後、西ひうち(2号地)、東ひうち(1号地)および東予インダストリアルパークなどの臨海部においては、豊富な水資源、高速交通網の整備など優れた立地条件を活かして、さらなる工業の集積を図る必要があります。
- 内陸部においては、繊維、製紙、鉄工、加工組立などの中小企業が市内各地に立地しています。自然環境や周辺地域との調和を図りながら計画的な工業用地の確保を図り、優良企業の立地を促進する必要があります。
- 市内事業所の大多数を占める中小企業については、独自技術の開発や人材の育成・確保、経営基盤の強化などを通じて、地域経済の中核として育成・強化する必要があります。
- 江戸時代からの伝統を誇り、生産量が全国シェアの90%以上を占める檀紙、奉書紙(手すき和紙)や、名水を活かした酒造など、地場・伝統産業のいっそうの振興を図る必要があります。

図5-5-1 製造品出荷額等と従業者数の推移

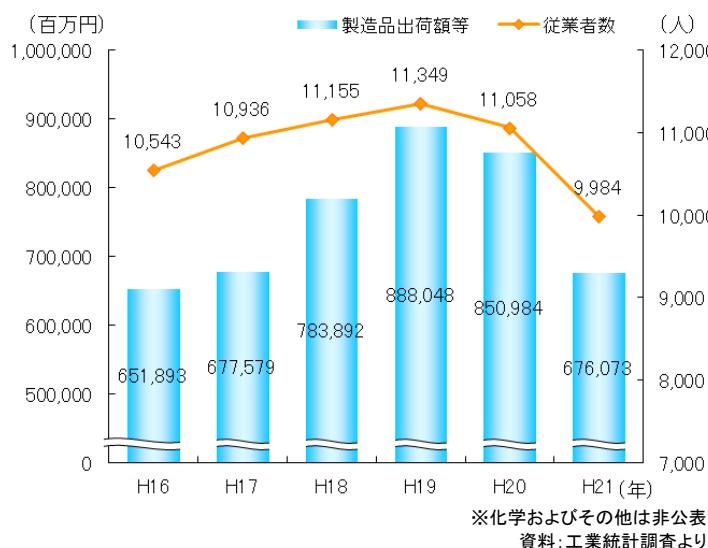
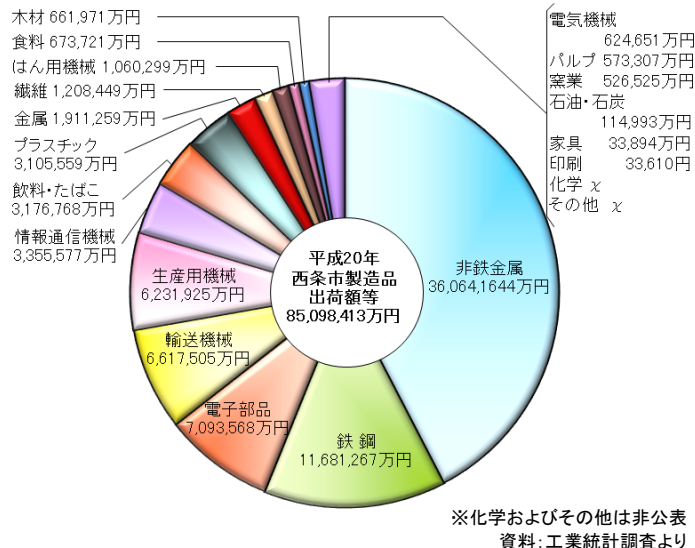


図5-5-2 西条市の産業分類別製造品出荷額等(平成20年)



平成27年度までに取り組む施策内容

- 企業誘致を推進します
- 中小企業活動を応援します
- ものづくり産業の振興を図ります

関係する個別計画

施策内容



企業立地が進む東予インダストリアルパーク

(1)企業誘致を促進します

- ①企業とのネットワークを構築し、工場の新設などの投資情報や今後成長が見込まれる産業分野に関連する企業ニーズの把握に努め、企業立地促進条例を活かしながら、戦略的に企業誘致を促進します。
- ②臨海部の工業用地については、利水企業、食品加工関連企業の立地を促進します。
- ③内陸部の工場適地については、その特性を活かしつつ、企業立地の動向と市民生活との調和を図りながら、企業立地を促進するとともに企業の農業参入を積極的に支援します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
企業立地の促進	企業立地促進条例にもとづく企業立地の促進	企業誘致対策事業



第8期西条経営者塾の様子

(2)中小企業活動を応援します

- ①激しい市場競争の中、たくましく事業を営むことができる地元経営者の育成を図ります。
- ②商工会議所、商工会、金融機関、産業支援機関などとの連携を図り、融資制度、中小企業の経営診断・指導事業に努めます。
- ③長年の経験より独自の技術とノウハウを有する企業などOB人材を起用したコーディネート活動を実施し、地域中小企業の技術力・管理能力向上を支援します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
地元経営者の意識改革・向上対策の推進	様々な課題を持つ経営者に対し、その解決策を見出すための「西条経営者塾」を開催	西条経営者塾開催事業
各種中小企業振興策の実施	資金融資などによる経営安定化の促進	中小企業振興資金融資事業 企業情報発信事業
企業OB人材の活用	OB人材の発掘、企業ニーズなどの把握およびマッチング	〇ターン推進事業

(3)ものづくり産業の振興を図ります

- ①四国屈指のものづくり集積地である愛媛県東予地域において、(財)東予産業創造センターとの連携のもと、日本・世界へと通用する「ものづくり拠点」の形成を目指します。
- ②ものづくり中小企業の独自性の高い技術開発や自社製品の開発、販路開拓など、競争力強化へ向けた取り組みを積極的に支援します。
- ③地場・伝統産業を支える技術や技能の継承をはじめ、消費者ニーズの多様化に対応した新商品の開発、ブランド化による全国への情報発信、地域内外での新しい市場の開拓など、地場・伝統産業の振興に積極的に取り組みます。

基本事業名	内 容	主な予算事業
次世代ものづくり都市の構築	「つながり力」「知財力」「人材力」の強化によるものづくり産業基盤の安定・強化	次世代ものづくり都市構築事業
知的財産の活用推進	知的財産を保護し、権利化することにより、中小企業の競争力を強化	知的財産権取得支援事業
地場・伝統産業の振興	地場・伝統産業の情報発信と販路拡大	—

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第6節 新規産業の創出

前期(平成18～22年度)における実績

- 産業情報支援センターと連携した新規産業創出の取り組みが評価され、産業情報支援センターがJANBOアワーズ2007 新事業創出大賞を受賞しました。
- 貿易商社、食品メーカー、農協などとの連携のもとタイ国への四国産品輸出プロジェクトに取組み、四国発の輸出ルートの確立が実現しました。
- 食品加工流通コンビナート構想の具現化へ向け、MH冷水製造システム※を活用した、いちごの周年栽培と閉鎖循環型温度管理陸上養殖の実証試験を実施し、農商工連携による新食料生産技術の基盤構築が進められました。

※ MH冷水製造システム …… 水素吸蔵合金が水素を吸収するときに発熱し、放出するときに吸熱するという性質を利用した環境にやさしい冷水製造システムのことで。



西条市産業情報支援センター

現況と課題

- 地域経済を取り巻く環境が大きく変化していく中、こうした状況変化に的確に対応し、柔軟な産業構造への転換と地域経済の持続的発展を実現するためには、企業誘致による「誘致外來型」の産業政策に加え、地域資源を活用した新規事業や既存企業の新たな分野進出、経営基盤強化といった地域活性化の原動力を強化する「内発型」の産業政策を進める必要があります。
- このため、これまでに蓄積された産業集積を基盤に、産学官の連携を促進し、起業家の育成、技術交流、事業化支援などを積極的に推進し、新事業の創出や技術高度化とともに、既存企業の新たな分野への事業展開を進めていく必要があります。
- 本市の農水産品の多くが県下第一位の出荷量を誇っています。これらと、人材、技術、その他の資源を有機的に結び付け、地域産業の「総合力」を活かすことができる取り組みを進めていくことが、喫緊の課題となっています。



図5-6-1 産業情報支援センターの企業相談件数の推移

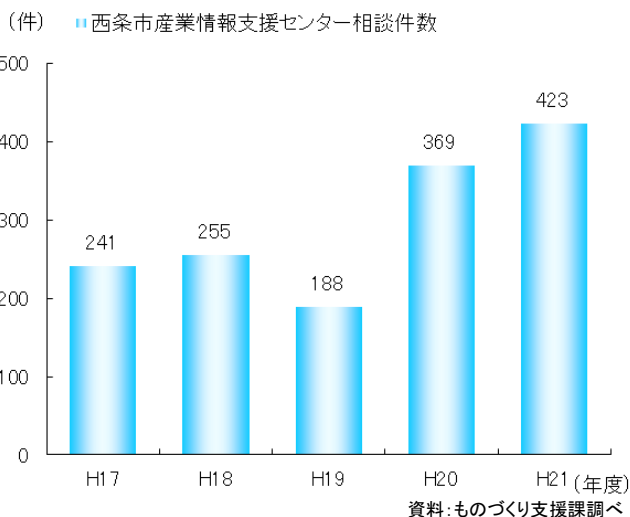
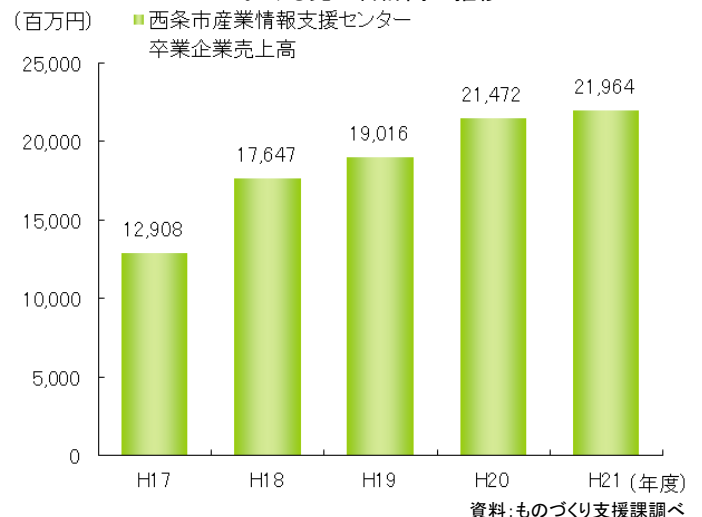


図5-6-2 産業情報支援センターの主な卒業企業(8社)における売上合計高の推移



平成27年度までに取り組む施策内容

- ビジネス・インキュベーション機能を強化します
- 総合6次産業化を推進します
- 産学官連携を推進します

関係する個別計画

施策内容

(1)ビジネス・インキュベーション※機能を強化します

- ①産業情報支援センターのインキュベータ室・SOHO支援室※の活用による起業家育成、新分野進出支援などに取り組みます。
- ②全国の産業支援機関などとの連携を密にし、起業家や中小企業の相談に的確に対応すべく、産業情報支援センターを拠点としたワンストップ・サービスに努めます。
- ③企業間、異業種、産学官などの交流を推進し、技術の高度化、新技術や新事業の創出を促進します。
- ④創業、経営、技術革新に関するセミナーや相談会などを通じ、起業風土の醸成や人材育成、企業経営の効率化・高度化を推進します。
- ⑤食の創造館を拠点として、新たな「食ビジネス」の創出を図ります。
- ⑥地域資源や地域ニーズに対応した新たな産業の創出を図ります。

基本事業名	内 容	主な予算事業
起業家の育成、新分野進出や新事業創出への支援	インキュベータ室・SOHO支援室の活用	産業情報支援センター管理運営事業
中小企業相談ワンストップサービスの実施	様々な課題を抱える中小企業に対し、産業情報支援センターを拠点としたワンストップサービスを実施する	—
情報および交流の場の提供	各種セミナーの開催および異業種交流会、相談会などの開催	—

※ ビジネス・インキュベーション … 起業家や創業間もない企業へ不足する経営資源を提供し、成長を促す一連の支援システムのことをいいます。

※ インキュベータ室・SOHO支援室 … 起業家や創業間もない企業に対して、不足する経営資源を提供して成長を促すために設置した部屋のことをいいます。



コンテナ便での地場産品輸出が実現

(2)総合6次産業化を推進します

- ①第1次産業から第2次、第3次産業の融合による、農水産物の生産・加工・流通が一体化した体制(1次×2次×3次＝6次産業化)を確立することにより、地域発の新産業を創出します。
- ②MH冷水製造システムから得られる冷水を活用した新食料生産技術の実証研究を進め、実用化に向けた取り組みを推進します。
- ③地域の強みである有形無形の独自資源をフル活用し、農商工連携による新たなビジネスモデルの創出を推進します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
地域資源を活用した新商品開発の推進	地元産品を活用した商品開発、販路開拓 PR活動、情報収集、メディアなどへの情報発信と食の創造館の機能強化	食品加工流通コンビナート構想研究開発事業
農商工連携による地域新産業の創出	いちごの周年栽培技術や、さつまいもの陸上養殖技術の確立	いちご周年栽培試験・研究管理事業 (ふるさと雇用再生事業)
市場開拓の推進	安定した食品輸出ルートと輸出商社機能の確立	—



MH冷水製造システム

(3)産学官連携を推進します

- ①大学などの機関が有する基礎技術および専門的な知識と、中小企業の有する技術・アイデアの融合による、新しいものづくり、知的財産の保護などに取り組みます。

基本事業名	内 容	主な予算事業
産学官連携の推進	学官連携の充実により、ものづくりに必要なシーズを取得し、市内中小企業とのマッチングを図る	—

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第7節 産業人材・雇用環境

前期(平成18～22年度)における実績

- 起業家マインド醸成事業を次世代地域人材育成の柱として位置づけ、小中学生を中心として、基礎的職業観や社会観を育成しました。
- 小学5年生から6年生までを対象に活動する西条市ものづくり科学創造クラブが、第3回ものづくり日本大賞 四国経済産業局長賞を受賞しました。
- 「リーマンショック」に端を発し、平成20年11月以降、急激に悪化した地域雇用情勢に対する緊急雇用対策として、国の交付金事業である「ふるさと雇用再生事業」および「緊急雇用対策事業」を活用し、離職者などに向けて多くの就業機会を創出しました。



うちぬき創造塾

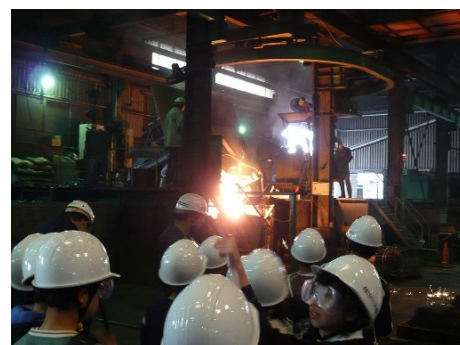
現況と課題

●厳しい経済情勢のもと、多くの企業では、絶えず新規事業の立ち上げや、既存事業の見直し・再生などにより、新たな付加価値を創出していかなければ、顧客ひいては市場から淘汰される非常に厳しい時代にあります。こうした中、各企業においては、既存の人材能力開発に取り組む一方、新たな人材の確保においては、基礎的学力はもちろんのこと、それ以上に仕事を通じたしっかりとした目標をもった職業意識のある人材を求めるようになってきています。

●このような状況を踏まえ、本市では次世代の地域を担う人材育成を雇用対策における最重要課題として取り組む必要があります。

●平成20年度より継続する全国的な雇用情勢の悪化は、地域の中小企業にも深刻な影響を及ぼしており、有効求人倍率も0.5を割り込むなど、極めて厳しい状況下にあります。本市では、就業機会の創出のための諸施策に取り組むとともに、企業に対する求人開拓などの働きかけもする必要があります。

●自社独自製品についての開発力や企画力、また生産管理能力が不足している場合が多く、これらの不足している弱点に対して、都市部で豊富な経験を積んできた企業OB等をマッチングし、企業の開発力、企画力、管理能力の向上を目指して地域全体の付加価値向上を図ることが必要です。



ものづくり科学創造クラブでの工場見学

図5-7-1 西条市における有効求人倍率の推移

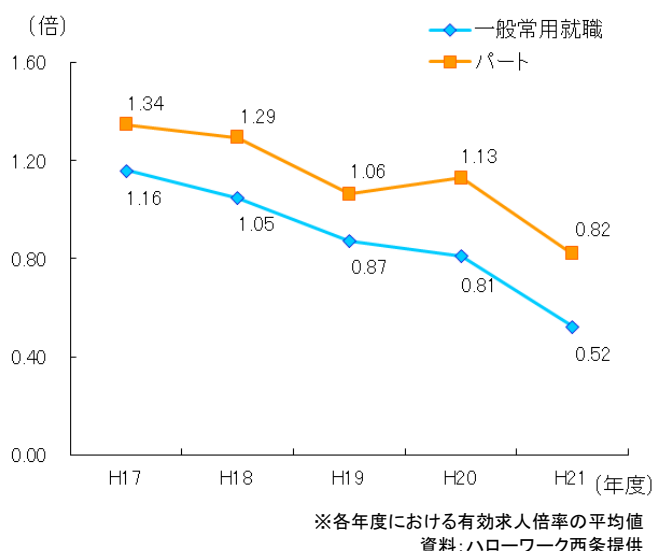
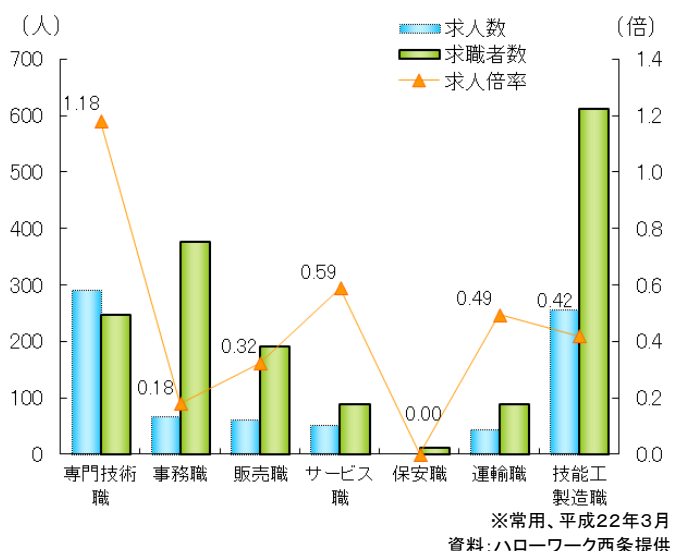


図5-7-2 職種別求人・求職バランスシート



平成27年度までに取り組む施策内容

- 産業人材の育成・活用を図ります
- 雇用環境の安定化を図ります

関係する個別計画

施策内容



トレーディングゲーム

(1)産業人材の育成・活用を図ります

- ①小中高校生など次世代を担う学生層の早期職業人材養成を図るため、地域と学校、行政が密接に連携を行い、職業意識の醸成⇒「起業家マインド」をはぐくむ各種プログラムを展開します。
- ②女性向けキャリアアッププログラムを実施し、地域の有能な女性人材の掘り起こし、育成を図り、もって女性の職業的自立と社会進出を支援します。

基本事業名	内 容	主な予算事業
次世代(学生層)を対象とした起業家教育の推進	小中高校生など、次世代人材の産業人材育成を目的とした起業家教育・キャリア教育プログラムの開催	起業家マインド醸成事業
女性人材の育成・活性化	職業的自立を目指す女性を対象とした女性チャレンジスクールの開催	女性チャレンジスクール事業

(2)雇用環境の安定化を図ります

- ①地域で育った人材が、その能力を地域で存分に発揮できるよう、時代の要請に応じた各種研修事業を充実するとともに、地元企業とのマッチングを積極的に行い、雇用機会の拡大および就業の定着化を図ります。
- ②次世代人材(学生層)および障害者やニート・フリーターなどの雇用環境の向上を目的として、地元企業への求人開拓活動などによる地域人材の就業の場の拡大を図ります。
- ③地域資源を活用した新規産業の創出や積極的な企業誘致活動の推進などにより、雇用機会の拡大を図ります。
- ④勤労者が安全かつ快適に働くことができるよう、労働環境の向上を図ります。



人材マッチング・合同就職面接会

基本事業名	内 容	主な予算事業
就業機会の創出	地域人材と地域企業とのマッチングを図るため、その出会いと情報提供の場の創出を目的とした合同就職面接会や就職フェアなどを開催	雇用促進対策事業
雇用⇒働く場所の拡大	地域人材の具体的就業支援対策として、地域企業への訪問などによる求人開拓を実施	—
勤労者福祉の向上	地域労働者の福祉向上を目的とした地域労働者福祉団体に対する活動支援および勤労者の生活環境の向上を目的とした低利融資制度の実施	勤労者融資制度預託金事業

第5章 産業の活力を実感できるまちづくり

第8節 観光産業の創出

前期(平成18～22年度)における実績

- 平成19年11月、JR伊予西条駅東側に鉄道歴史パークinSAIJOをオープンしました。また、同時に観光案内拠点となる観光交流センターを整備し、情報発信機能の強化を図りました。
- 観光協会と連携し、市内のうちぬきを巡る「水めぐり」のルートを作成し、水めぐりツアーを開始しました。



鉄道歴史パーク in SAIJO (四国鉄道文化館)

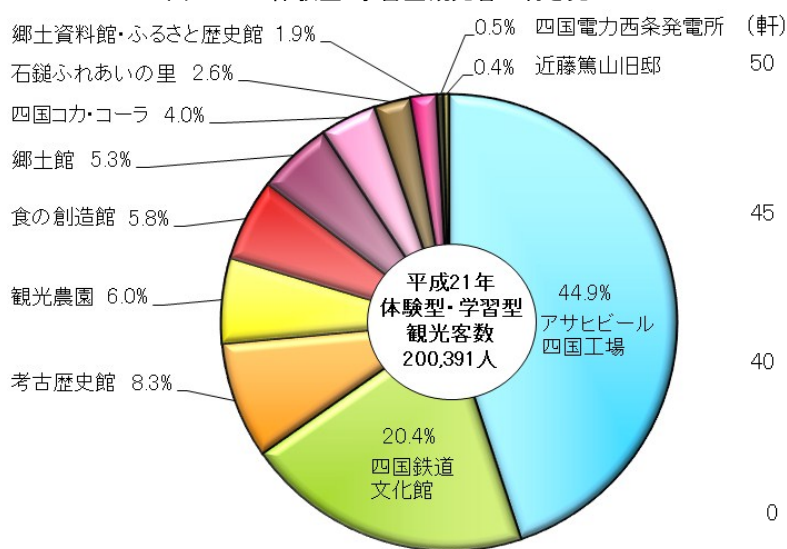
現況と課題

- 本市には、石鎚山や瀬戸内海をはじめ、豊かな水資源に代表される自然環境や四国霊場の札所、温泉、史跡、文化財など、魅力的な観光資源が数多く存在しており、現在も、多くの観光客が訪れ、地域経済の活性化に大きく寄与しています。
- 近年の観光を取り巻く状況は、交通・情報基盤などの整備、価値観の多様化や生活様式の個性化などにより、団体から個人グループでの観光へ、そして従来型のスポット観光から市町村や都道府県の枠組みを越えた広域的な観光へと移行しています。また、そのスタイルも「見る観光」から「自らが体験・学習する観光」へと変わりつつあります。
- 今後、これら観光客のニーズに対応するため、ハード・ソフト両面での受け入れ体制を確立するとともに、グリーンツーリズムやエコツーリズム、産業観光など新たな体験型・学習型の観光スタイルを観光客に提案していく必要があります。あわせて、周辺地域との連携による広域観光にも積極的に取り組む必要があります。



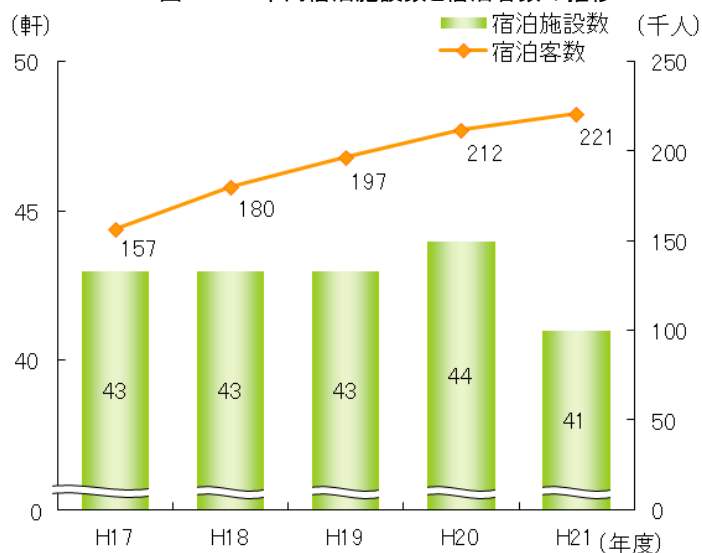
瓶ヶ森から見た石鎚山

図5-8-1 体験型・学習型観光客の行き先



資料：観光振興課調べ

図5-8-2 市内宿泊施設数と宿泊者数の推移



資料：観光振興課調べ

平成27年度までに取り組む施策内容

- 観光拠点の整備を推進します
- 魅力ある観光ルートの確立と情報発信に努めます
- 受入体制の充実と“おもてなし”の向上を図ります

関係する個別計画

施策内容



石鎚山ハイウェイオアシス館

(1)観光拠点の整備を推進します

- ①石鎚山系山岳観光ルートや武文公園周辺、石鎚ふれあいの里、本谷温泉周辺、石鎚山ハイウェイオアシス、椿交流館などの観光拠点の整備を図り、観光集客を推進します。
- ②JR伊予西条駅南側に拡張する鉄道歴史パーク in SAIJOを活用し、集客力の向上に努めます。

基本事業名	内 容	主な予算事業
石鎚山岳観光の振興	石鎚山系山岳ルートの整備と山岳観光ボランティアの育成による山岳観光の振興	石鎚ふれあいの里管理運営事業
観光拠点の整備・維持管理	鉄道歴史パークinSAIJO、石鎚ふれあいの里、本谷公園周辺、石鎚ハイウェイオアシスなどの観光拠点の整備、維持管理	観光施設整備事業

(2)魅力ある観光ルートの確立と情報発信に努めます

- ①既存の観光施設やイベントを活用しながら、豊かな自然環境や温泉、史跡、文化財などとのネットワーク化により、テーマ性のある新しい観光ルートを創出し、滞留時間の増大を図ります。
- ②企業の製造施設、観光農園、手すき和紙、造り酒屋などの地場産業や見学・体験が可能な地元企業と連携し、体験型・学習型の観光の整備を図ります。
- ③交通基盤整備などに伴う観光の広域化に対応するために、周辺地域の観光拠点と連携して広域観光ルートや推進体制の確立を図ります。
- ④ポスター、パンフレットやインターネットなどの情報発信手段を活用して、観光拠点やイベント、特産品などの情報発信に努めます。



西条まつり 川入りの様子

基本事業名	内 容	主な予算事業
各種観光イベントの開催支援	西条まつり、夏彩祭、丹原七夕夏まつり、小松町ふるさと祭りなどのイベントに対する支援	観光振興費
観光ルートの創出	石鎚山系、うちめき、観光農園、産業観光施設などのネットワーク化による新しい観光ルートの創出	観光資源調査事業
観光宣伝の実施	近隣市町との連携による広域観光の推進 広域パンフレットの作成	観光宣伝事業



観光協会が実施する
「ガイドと歩く 西条水めぐりツアー」

(3)受入体制の充実と“おもてなし”の向上を図ります

- ①市内宿泊施設との連携による、宿泊環境など受け入れ体制の整備に努めます。
- ②観光客を受け入れる地元側の姿勢や心構えが重要視されるようになっていることから、各分野における案内人(ガイド)の育成など、受入体制の充実と“おもてなし”の向上に努めます。

基本事業名	内 容	主な予算事業
受入体制の充実と“おもてなし”の向上	案内人(ガイド)の育成・組織化	外国人観光客対応講座実施事業